

サポーターズタイムズ

Supporters Times



2007年(平成19年)
6月1日(毎月1日発行) **No. 143**

秋葉けんやサポーターズ事務所
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057

衆議院議員 **秋葉 けんや** 政策・活動レポート

購読料 年額6,000円

編集 集 (株)アクトジャパン

「年金の記録漏れ問題」～衆議院で救済法案が成立～

社会保険庁改革法案がようやく衆議院で可決された。不祥事が絶えず、お粗末な管理実態が批判されてきた社会保険庁を2010年に廃止して、非公務員型の公法人「日本年金機構」を創設し、年金業務を広く民間に委託することにしている。野党からは強行採決だと批判されたが、国民の信頼を裏切り続けてきた社保庁のたるみきった組織を日本年金機構として一から出直させ、不祥事体質と決別させるために必要不可欠な法案だ。

今回の法案審議の過程で、「年金の記録漏れ」が明らかになり、改めて社保庁のずさんさが浮き彫りになった。国民年金や厚生年金の保険料について、過去に誰が払ったのかを特定できない件数が5千万件以上あることが判明した。記録漏れの多くは1997年の基礎年金番号の創設時に、社保庁の処理がおざなりだったうえに加入者の記憶違いや勤務先の記入の誤りがあったためだという。とても信じられないあきれた話であり、記録漏れは最近発生したのではなく、積年の問題だったといえよう。歴代の社保庁長官や厚労大臣の責任を厳しく問う必要がある。

そこで、わが党では国民の皆さんの不安を早期に解消し万全を講ずるため、約5千万件の不明な記録について、受給者約3千万人の記録と照合する再調査を実施することを決めた。同時に、年金の支給漏れ被害者を救済する特例法案を今国会に議員立法で提出し、衆議院で可決した。年金の支給漏れが確認された場合、現行制度で不足分を受け取れる期間は5年間だが、この時効を適用せずに全額年金を補償することにしている。新たに発生する国庫負担額は最大60億円にのぼると推計されているが、そもそも国民の側には全く落ち度がない話で、満額支給は当然のことだ。

2004年の年金制度改革法は、国民年金の保険料未納率を今年度末までに20%に改善することを前提に、将来の保険料負担や給付水準を設計したが、残念ながら今年3月時点の未納率は34.5%で、1年後に20%に持っていくのは至難の業である。記録漏れ問題の救済はもちろん急務だが、なかなか納付率が向上しない年金の未納の問題にもさらに効果的な取り組みが求められる。

年金を含めた社会保障費は、これから増えることはあっても減ることはない。今の国家予算80兆円に対して、社会保障給付費は既に約90兆円に達している。これには自治体の支出分も含まれているが、国は90兆円のうち約4分の一の20兆円を税金で賄っていることになる。

国際的にみて、わが国の社会保障の質はかなり高い水準にあり、低負担で高福祉を実現してきたといつてよいと思う。国民負担率(租税負担率と社会保障負担率の合計)は約40%で、スウェーデンの70%、仏の61%、独の52%、英の48%と比較しても相当低い負担率である。基礎年金まですべて税金で面倒を見るべきだという暴論も根強いが、国民の年金不信を解消するためには、今後、負担と給付のバランスをどうしていくのか、という根本的な制度設計を問い直し、真に公平な仕組みを構築していくことが我々立法府の責務だ。



衆議院議員 **秋葉 賢也**

未来のために必要なことを、今。松下政経塾出身、44歳!!

パキスタン・インド歴訪レポート!

～パキスタン・レポート～

今後の国際機関を通じた日本政府による海外援助や ODA の有効なあり方を検討する目的で、パキスタンにある国連人口基金、国際家族計画連盟、そして日本政府がパキスタンで行っているプロジェクトサイト（人口、安全な水、貧困、HIV/エイズ、農村開発、公衆衛生、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルスなど）を訪問し、国連人口基金、国際家族計画連盟、日本政府の支援の実情と、インドの人口・開発状況を視察すると同時に、パキスタンの要人と会談させて頂き、両国の友好関係強化について意見交換いたしました。



(チョードリー人口福祉大臣との会談にて)



(スムロ上院議員主催の夕食会にて)



(NGO パキスタン家族計画協会事務所にて)



(ムザファラバード加藤センター)

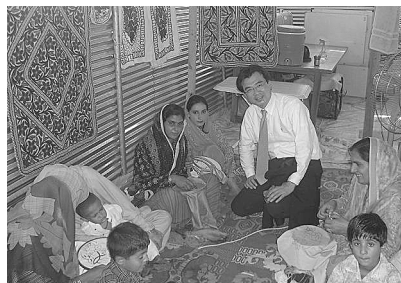
加藤センターは、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力で設立されました。基礎保健医療の提出、女性を対象とした職業訓練、母子保健・家族計画教育等を目的としており、訪問時には多くの女性が裁縫を学んでいました。



2005年のパキスタン大地震で壊滅的な被害を受けたムザファラバード市。JICAによるムザファラバード復興・復興支援の一環として、耐震構造を備えた学校として設立されたムティパーク女子学校校舎前で。



(カシミール大統領と)



(職業センター内にて)

NGOの緊急開発支援機構(JADE)により、パキスタン大地震の復興・復旧支援事業として運営されている職業訓練センターでは、寡婦等の女性の皆さんが職業訓練(カシミール刺繍)を受け、自立に向けて頑張っていました。

～インド・レポート～

パキスタン視察後、日本の資金・技術援助の成果と日本のIT産業によるインド展開事業を調査する目的で、インドを視察して参りました。



仙台市に本店があるIT系企業、グレープシティのインド支店を訪問し、インド国内のIT産業の実情を視察致しました。



日本の円借款で完成した『インド初の地下鉄』(写真左上)に試乗しました。インドの近代化を感じる一方で、地下鉄を出た旧市街地では(右上写真)、今にも崩れそうな建物群で雑然としており、近代化における大きなギャップを感じました。

ボランティア募集中!



障害者自立支援対策が具体化！

障害者の皆さんが自立した生活を送れるように福祉サービスの充実を目指して、昨年4月より「障害者自立支援法」が施行されていますが、障害者の皆さんや施設の負担が増加することで、福祉サービスの利用が減ってしまう可能性があるなどの理由から、内容を改善するよう提言して参りました。その結果、障害者の皆さんや施設の負担軽減を行うための緊急の「特別対策」が、現在、実施されています。

第一のポイントは、利用者負担の軽減です。障害者の通所・在宅、障害児の入所・通所の福祉サービスの一割負担の月額上限が引き下げられます(現行2分の1から4分の1)。特に、これまで一律に一割負担の上限が定められていた市町村民税課税世帯(一般世帯)についても、所得割10万円未満の世帯は軽減対象となります。

第二のポイントは、通所施設の激変緩和措置です。日払い化により報酬が激減し、閉鎖に追い込まれる事業所が増加していました。そこで、法導入前の収入の9割と現行収入との差額が補填され、通所施設への送迎費も一事業所につき300万円以内で助成されることになりました。

第三のポイントは、新体系移行までの経過措置です。新体系への移行が済んでいない小規模作業所へ110万円、デイ・サービスへ150万円、精神障害者地域生活支援センターへ300万円が補助されます。

障害をもつ皆さんが生活しやすい環境づくりを実現します。

『児童虐待防止法改正案』衆議院で可決！

児童虐待によって尊い児童の命が奪われる事件が後を絶ちません。

こうした事態に歯止めをかけるために、秋葉代議士が副会長を務める党の厚生労働部会と児童虐待防止等に関する小委員会の合同会議で、『児童虐待防止法改正案』が了承、議員立法として国会に提出され、衆議院で可決されました。

児童虐待の発見が遅れ、児童が死亡するケースが増えている実態に着目し、これまで、虐待のおそれがあると認められる場合でも保護者の同意がなければ法律上立ち入り調査をすることはできないことを改正し、改正案によれば、①保護者が調査を拒否した場合でも、児童相談所が、裁判所の『令状』を取って強制的に立ち入り調査することができ、②虐待を行なった保護者が子供につきまどったりするのを防ぐために、都道府県知事が「接近禁止命令」を出すことができるようになります。さらに、③立ち入り調査を拒否した保護者に対する罰金を30万円以下から50万円以下に引き上げられました。

議員立法で、大切な命を暴力から守ります！



秋葉代議士の提言、また実現！ 『更生保護観察法案』衆可決

初当選後、法務委員会委員となった秋葉代議士は、保護観察期間における保護観察対象者の再犯が増加している実態を踏まえ、『保護観察対象者の生活実態の報告と保護観察官又は保護司との面接の義務化』の必要性を強く提言し、法務大臣(当時)から法改正を含めた見直しを検討する旨の回答を戴きました。先般、秋葉代議士の提言内容も盛り込まれている『更生保護法案』が衆議院で可決されました。

これは、現行の犯罪予防法更生法と執行猶予者保護観察法を整理・統合し新たな法律とすること、保護観察における遵守事項の整理・充実(特に、保護観察対象者の一般遵守事項として生活実態を示す事実申告の義務化)を定めたもので、秋葉代議士の提言は、国政で大きく実現されています！

気象庁を視察！

災害対策特別委員会理事として、気象庁の業務の現状を調査するため、大手町にある気象庁を視察して参りました。

まず、長官室を訪問し、平木哲気象庁長官と懇談(下写真)。危機管理の観点からも、正確な情報収集は極めて重要です。



次にウィングス・気象レーダー中央監視室で、ウィングス・気象レーダーに関する説明を受けました。



昨年11月、災害対策特別委員会の質疑において秋葉代議士は、例えば『低気圧』には一般に熱帯低気圧で10分間の平均風速17m/sを超える『台風』に匹敵する激しい暴風雨を伴ったものもあり、気象用語を現状に即したより分かりやすいものにするよう強く提言しました。今回の視察で予報部の露木業務課長(下写真)より、秋葉代議士の提言を受け、気象用語がより現場に即した詳細なものに見直された旨、報告を受けました。



国民の生命・安全に必要な提言を、今後も積極的に行って参ります。

海外政策レポート ～イタリアの少子化対策～



ロージー・ビンディ(伊)家庭政策大臣が来日され、日伊友好促進議員連盟主催の歓迎昼食会に出席致しました。本年1月、政治情勢視察でイタリアの上院と下院そして宮城県と関係が深いローマ県庁を訪問した秋葉代議士もロージー・

ビンディ家庭政策大臣と懇談させて戴き、イタリアの少子化対策について興味深いお話を伺いました。

日本の合計特殊出生率(一人の女性が生涯に産む子どもの数)は、1.26(2005年)と下がり続けています。先進国の中でも日本と並んで少子化が深刻なのが、イタリアだったとご存知ですか?

イタリア社会は日本社会と同様、男性が仕事、女性が家事・育児をするという考えが根強く、男性が家事を負担したり育児に参加することが少なかったため、女性が出産後、育児と仕事を両立してゆくのは、非常に難しい状況で、1997年には合計特殊出生率が過去最低の1.18にまで低下。

しかし移民の流入増や中高所得層の出産増が寄与、05年には1.34に上昇。移民は多産であるだけでなく育児サービスに従事する労働力として重要で、移民の増加は出生率底上げに寄与した。また中高所得層の出産増加に必要な保育所整備についても3歳未満児の保育所整備率を9%にまで上昇。今後3年間で更に計10億ユーロ(約1600億円)を投じ15%までに引き上げる予定です。また第二子以降の子ども一人に100ユーロを支給するベビーボーナスを支給しましたが、効を生じなかった為、中高所得層の2人目、3人目の出産を支援するためのイタリア独自の政策を検討しているとのことでした。

わが国の少子化対策を検討する上で、大変貴重なお話を伺うことができました。

秋葉けんやと語る会

〈国政報告会〉

(泉区)

6月22日(金) 19時～20時

南光台市民センター

(泉区南光台7丁目1番30号)

TEL 022-251-5850

(宮城野区)

6月29日(金) 19時～20時

中野栄コミュニティ・センター

(宮城野区中野栄3丁目11番11号)

TEL 022-254-6050

(若林区)

6月30日(土) 19時～20時

荒浜コミュニティセンター

(若林区荒浜新1丁目3番3号)

TEL 022-288-9701

『国際漫画賞』が創設されます! ～マンガのノーベル賞!!～

ポップカルチャーの文化外交の活用の一環として、海外で漫画文化の普及に貢献する漫画作家を顕彰する『国際漫画賞』を創設するため、「第一回国際漫画実行委員会」が発足されました。

この賞は、麻生外務大臣の文化外交に関する政策スピーチを具体化したものです。海外の漫画作家の日本文化に対する理解の向上が期待できます!

秋葉代議士も文化外交推進に積極的に取り組んでいます!

お知らせコーナー

『新しい風』宮城から 衆議院議員 秋葉けんやと語る会

(日 時) 6月25日(月) 午後6時半～7時半

(場 所) トラストセンタービル会議室(仙台市泉区中央1丁目23-6) 式萬圓堂(泉中央本店)隣

(スペシャルゲスト) 参議院議員 愛知治郎 氏

皆さん、お気軽にご参加下さい。当日参加も大歓迎です!

秋葉 賢也(あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、44才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 現在、衆議院議員(二期目)。

【衆議院所属】文部科学委員会委員、災害対策特別委員会理事、行政改革特別委員会委員

【自民党役職】厚生労働部会副部会長、総務部会副部会長、国際局次長、青年局次長、拉致問題対策特命委員会幹事、外交力強化に関する特命委員会委員 他

【その他】宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問、保護司、宮城県土地家屋調査士協会顧問 他

- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。

- 趣味:野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

